

鴨川ふるさと会だより

— 第14号 —

鴨川ふるさと会発行 事務局：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所企画政策課内） TEL：04-7093-7828

平成27年度定期総会を開催します

議事終了後に、市執行部との市政懇談会やふるさとセミナー、懇親会を併催

セミナーテーマ「かもナビから始まったまちづくりの取り組み」

平成27年度 鴨川ふるさと会 定期総会等のご案内

- 日時 平成27年8月9日（日）
13：00～16：50（予定）
- 場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
東館2階「白樺の間」外
（JR市ヶ谷駅より徒歩3分）
東京都新宿区市谷本村町4-1
電話 03-3268-0111
- 内容
 - ◇定期総会
 - ◇長谷川市長からの市政概要説明・市執行部との懇談会
 - ◇ふるさとセミナー
岡野大和氏のご講演
 - ◇会員及び市執行部との懇親会
- 会費 会員4,000円
会員家族2,500円

※内容については、変更となる場合がございます。予めご了承ください。

鴨川ふるさと会の平成27年度定期総会を8月9日（日）午後1時から、ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催します。総会では、平成26年度事業報告や決算報告、平成27年度事業計画案や予算案などについて審議いただきます。議事終了後には、皆様のご意見・ご提言を市政に届けるため、市執行部をお招きし、鴨川のまちづくりについての懇談の機会を設けます。どうぞ、ふるさと鴨川の発展のために、皆様がお持ちのご意見やアイデアをご提言ください。さらに、ふるさとセミナーとして、市内の情報ポータルサイト「かもナビ」開設の中心的役割を果たした方で、フリーペーパー「KamoZine」の

編集長でもある岡野大和氏をお招きして、ご講演いただきます。セミナー終了後には、会員の皆様に交流を深めていただくため、懇親会（お楽しみ抽選会も行います）の場を設けます。気の許せる同郷の仲間と、ふるさと鴨川の今昔について語り合うひと時をお過ごしください。当日は、ご家族等（会員でなくても構いません）のお誘い合わせも大歓迎ですので、皆様、ぜひご出席ください。※出欠については、この会報に同封の出欠票にて、事務局へご回答ください。会場準備の都合上、7月22日（水）までに返信くださるようお願いいたします。

ふるさとセミナー 講師のプロフィール

姓名(カナ)：岡野 大和(オカノヤマト)氏 鴨川市天津在住
 現職：かもナビコーディネーター/天津神明宮禰宜/合資会社いなかつ代表
 経歴：大学4年生時、仲間数名と合資会社いなかつを設立。Web関連を主事業とし、IT時代の追い風に乗る、順調に売り上げを伸ばす。2006年、故郷・天津へ戻り、神職としての道も歩み始める。鴨川ポータルサイト「かもナビ」を立ち上げ、翌年には「KamoZine」の発行を手がける。2011年には、鴨川を舞台としたアニメ「輪廻のラグランジェ」推進委員に、2014年には女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」の後援会事務局長に就任。さらに2015年、同チーム事業部長に就任。



新市10年の歩み

～鴨川ふるさと会と共に～

平成17年2月に鴨川市と天津小湊町が合併し、新しい「鴨川市」が誕生しました。あれから10年。鴨川ふるさと会と共に歩んできた歴史を振り返ります。

平成17年

- 2月11日 新「鴨川市」が誕生
- 3月13日 新市初代市長に本多利夫氏が就任
- 4月1日 天津中と小湊中が統合し「安房東中学校」が開校
- 7月10日 市へ国指定天然記念物の「薄墨桜」を寄贈
- 8月8日 市へ会員の「書家」川津幸枝氏より作品を寄贈

平成18年

- 4月1日 安房初の4年制キャンパス「城西国際大学観光学部」が開校

平成19年

- 1月15日 「子育て総合支援センター」がオープン

平成20年

- 2月 千葉ロッテマリーンズが初の春季キャンプを実施
- 2月20日 身延町と姉妹都市協定を再締結
- 4月1日 新・西条幼稚園舎が完成 幼保一元化がスタート

平成21年

- 1月1日 間寛平さんが地球一周アースマラソンに鴨川から出航
- 3月13日 2代目鴨川市長に片桐有而氏が就任
- 4月1日 県内初の小中一貫校「長狭学園」が開校
- 7月12日 鴨川ふるさと会創立10周年記念定期総会
- 12月15日 長狭高校にて石川会長が講演

平成22年

- 1月1日 市民憲章、市の花・木・魚を制定
- 9月26・27日 天皇皇后両陛下の行幸啓 大山千枚田などを御視察

平成23年

- 3月11日 東日本大震災が発生
- 4月1日 新「鴨川中学校」が開校
- 7月31日 総会にて年会費制の導入について決定
- 11月 千葉ロッテマリーンズ1軍が秋季キャンプを実施

平成24年

- 2月15日 天皇陛下の歌を後世へ 大山千枚田の御製碑を披露
- 4月1日 4年制の「亀田医療大学」が開校

平成25年

- 2月25日 石川会長が鴨川市企業等誘致委員会の委員に就任
- 3月13日 現長谷川孝夫市長による市政がスタート
- 5月4・5日 60年に一度の厳島神社弁財天の「本開帳」
- 9月13日 米・マニトワック市との姉妹都市提携20周年記念式典

平成26年

- 2月24日 女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」誕生
- 4月14日 戸部洋平選手 第36代日本スーパーフライ級王者に
- 11月16日 「鴨川吉保梅の里」へ梅の苗木を寄贈

平成27年

- 1月31日 市制施行10周年式典と記念行事を開催
石川会長が市政功労者として地方自治功労を受彰
- 4月8日 江見小・太海小・曾呂小を統合した、新「江見小学校」が開校



新市開庁式



薄墨桜寄贈



創立10周年記念総会



天皇皇后両陛下「行幸啓」



厳島神社弁財天「本開帳」

「鴨川吉保梅の里」へ

苗木を寄贈

去る、平成26年11月12日（水）に開催された、平成26年度第2回理事会において、石川会長より梅の苗木の寄贈について提案があり、承認されました。寄贈の方法としては、既存の梅の里オーナー制度によるものではなく、鴨川ふるさと会として、別途苗木を購入、当会からの寄贈であることを表示していただくことになりました。寄贈の本数は50本に決定し、平成26年11

月16日（土）に、「鴨川梅の里友の会」会員の手によって植樹が行われました。

本事業の趣旨をご理解頂き、ご賛同くださいますようお願いいたします。

「鴨川吉保梅の里」は、吉尾宮山地区の菌塚山（きねつかやま）を中心に観光振興と地域の活性化を目的としたもので、南高梅を中心に五千本の梅の植栽を行い、観光梅園としての整備や、梅の木オーナー制度の導入など、多くの人々が楽しめる梅園づくりに向け取り組んでいます。この取り組みは、市内の観光協会、旅館組合や商工会、そして吉尾宮山地区の方々を構成員とする「鴨川吉保梅の里づくり実行委員会」により、進められていくものです。

「鴨川梅の里友の会」とは梅園の環境整備・施設の充実を図るため、多くの皆様のご協賛を頂きたく設立したものです。広く事業にご賛同頂ける方の募集を行っております。募集の詳細は同封のチラシをご覧ください。

■募集口数 三千口

■会費

【web申込み】

一口 一万円

【専用紙】

一口 一万二千元

■会員期間

平成30年7月31日まで

■特典

観光施設や宿泊料金の割引など多くの特典がございます。



鴨川ふるさと会の皆様にも、



鴨川市納涼花火 — 鴨川大会 —



7月29日（火）午後7時30分から8時30分まで、「日本の渚百選」に選定されている前原・横渚海岸を会場として、「鴨川市納涼花火 鴨川大会」が開催されます。

鴨川の花火大会の代名詞でもある水中花火をはじめ、スターメインなど3000発を打ち上げる予定。また、砂像彫刻家の保坂俊彦氏の砂像ライトアップとのコラボレーションも予定されております。水

上で繰り広げられる鮮やかな花火を、この機会にぜひご覧ください。

※ 荒天の場合は、開催日を31日まで順延。当日は、駐車場に限りがあり、会場周辺は大変混み合いますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※ 問い合わせは、鴨川市観光協会（☎041709210086）へ。

「我が故郷
鴨川・江見を想う」

鴨川ふるさと会理事
ト部 泰弘



「江見海岸と内房線」
* 昭和40年代後半
(鴨川市郷土資料館贈)

昭和35年長狭高校卒業後に上京、昭和42年オリンパス光学工業(株)(現オリンパス)に入社、中途採用ながら医用内視鏡事業について深く、また中心的に関わることが出来たのは、幸せな会社人生であったと思います。胃カメラから始まるファイバースコープ時代、電子内視鏡から超音波内視鏡、カプセルカメラ、関節鏡下手術、そして腹腔鏡に代表される内視鏡下外科手術の日本国内導入と日本の内視鏡医学の発展を傍らからつぶさに見てくることが出来ました。各科学会にも参加して、最先端の医学研究動向を自分の目で確認したりして来りました。そして福岡、名古屋、高松、大阪、京都と転勤して居住しても、想うはいつも心の底にあった故郷鴨川や江見のことでした。若い頃は、夏は江見の海、冬になると山登りでした。厳冬期の厳しい北アルプスや岩壁登攀で宙ぶらりんの経験もしました。また一年中行っていた谷川岳や八ヶ岳など懐かしい山々ですが、あまり多くの山々には登っていません。所属していた山岳会の後輩会長が、現在では東京都山岳連盟遭難対策・遭難救助隊長の要職を任されています。仲間では、プロの山岳ガ

イド(試験合格)をしている者もいます。また何人かの山の友を山で失ってしまいました。私の出身、江見は旧朝夷郡に属し長狭郡の鴨川とはあまり縁がありませんでした。警察署は鴨川警察署ではなく、千倉警察署管内で千倉警察署江見駐在所でした。小中学校の分類も朝夷郡に属する第3部会、従って野球の大会も相手は和田中学校や千倉中学校などでした。小中学校の連合体育祭も千倉駅下車の健田中学校庭での参加でした。ご存知のように安房郡と重なる安房の国の旧郡は平郡、安房郡、朝夷郡、長狭郡の4郡でした。その為、大正11年に鴨川地区

(旧長狭郡) 11か町村組合立で設立された長狭中学校(現長狭高校)には、江見は参加しておりません。昭和30年の市町村合併で江見町が太海村、曾呂村と合併して新江見町が誕生した時に旧郡境が移動したことになり、警察署も鴨川署に移管されました。そこで校区も安房高から長狭高に変更された訳で、長狭高校進学の縁が出来たわけです。個人的には結果的に鴨川に組み込まれて良かったと思っております。その江見町に江戸時代百石村が存在したと「鴨川のあゆみ 鴨川市史 読本編」に掲載されているところがあります。赤穂浪士に関係する場

所です。江戸城松の廊下で吉良上野介に刃傷した、浅野内匠頭長矩の弟に大学長広がおりました。大学長広は本家である広島浅野家にお預けとなり、家老大石内蔵助は大学長広を頂いて御家再興を願いますが果たせず、吉良邸討ち入りとなった迄は有名な話で語り継がれています。その弟大寺学長広は9年後に許され旗本として安房国平郡と朝夷郡に五百石を賜りました。その五百石の内百石が江見村にあり幕末まで続いていたそうです。このような歴史もきちんと後世の伝えてゆきたいものです。

掲載記事を
募集します！

事務局では、会員の皆様からの「鴨川ふるさと会だより」への掲載記事を募集しています。日頃感じていることや、ふるさと鴨川への想い、身の回りの出来事などを会員ページに掲載してみませんか。

今号では、理事のト部泰弘さんに「我が故郷 鴨川・江見を想う」というテーマで、ご寄稿をいただきました。ありがとうございました。

今後も、この「鴨川ふるさと会だより」を、会員同士の交流を深める場、報告の場などとして、どうぞお気軽にご利用ください

* 鴨川出身の方などの
お店をご紹介します。

鴨川出身の方などが経営している店舗等を、会報に掲載し、会員の皆様にご紹介しています。自薦他薦は問いません。

同封の「ご紹介カード」に必要事項をご記入のうえ、事務局にご返送ください。

掲載についてのご了解等に関しては、事務局で再度確認をさせていただきます。ぜひ、情報をお寄せください。

鴨川ふるさと大使として

鴨川のPRを！

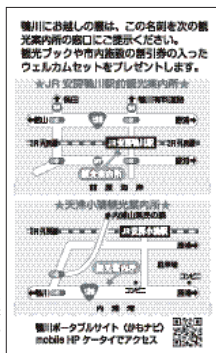
本会は鴨川市との連携により、多くの会員の皆様に「鴨川ふるさと大使」としての役割を担っていただいております。

大使の皆様には、市から大使用の名刺が提供されることとなりますが、平成26年度に、この名刺のデザインをリニューアルいたしました。

吉保八幡神社で催される「流鏝馬」や大山寺不動堂に



大山寺不動堂向拝 初代伊八作

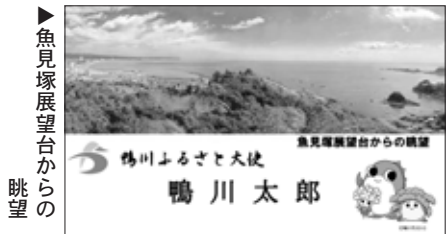


裏面

据えられた「波の伊八」の作品など4種の写真を取り入れ、裏面には、本会が鴨川市観光協会の協力により実施している「ウェルカムセット配布事業」の案内を掲載しています。大使の皆様におかれましては、お手元の名刺が無くなり次第、事務局へご連絡いただきますよう、お願いいたします。



吉保八幡神社 流鏝馬



魚見塚展望台からの眺望



新緑の四方木 白岩溪谷

鴨川の味覚を満喫して ふるさと産品セット

これまで、本会では総合交流ターミナル「みんなみの里」との協力により、会員の皆様へ特別商品プラン「ふるさと産品セット」を紹介してまいりました。今年も、パンフレットと申込書を同封しましたので、ご自宅用またはご贈答用として、鴨川の味覚をぜひお楽しみください。

今回のお奨め品は、「夏野菜詰め合わせセット」です。夏の強い日差しを全身に浴びた鴨川の夏野菜は鮮やかな色と、野菜本来の濃厚な味が好評です。

特に、「トマト」は抗酸化作用のあるリコピンがたっぷり。サラダの主役として食べてもとても美味しいですが、ソースにして深い味わいを楽しんでほしい。

鴨川の大地と太陽の恵みいっぱい「夏野菜詰め合わせセット」を、この機会にぜひお試しください。



※写真はイメージです

ふるさぼーと寄附金(ふるさと納税)へ 協力をお願いします

本会では、「鴨川市ふるさぼー」と寄附金(ふるさと納税)への積極的な協力を勧奨しています。

ご寄附をされた方には、市から謝礼品が贈られますが、この謝礼品の内容が、平成26年度から変更となっております。

一万円以上のご寄附をされた方は、全6種類の謝礼品の中から1種類を選択することができます。

また、五千円以上、一万円未満のご寄附をされた方にも、別途、謝礼品が贈られます。

平成26年度実績を報告します。平成26年度の実績としては、総数で113件(二百七十九万円)で、うち会員の皆様からのご寄附は25件(九十九万円)でした。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

いただいた寄附金につきましては、「鴨川市ふるさぼーと基金」に積み立て、ふるさと鴨川のまちづくりに有効に活用させていただきます。

なお、詳しくは、市の専用ホームページ「鴨川ふるさぼーと」をご覧ください。本会事務局までお問い合わせください。

※写真はイメージです



長狭米(5kg)



干物セット



農産物セット

市役所庁舎の耐震工事と大規模改修工事が完了

平成26年1月から進められてきた、市役所本庁舎の耐震補強・大規模改修工事が27年2月末をもって完了しました。今後は、来庁者の皆さんに安全・安心、また快適にご利用いただくことができます。

■工事期間

平成26年1月から27年2月まで

■事業費

18億2672万7千円



- ▽耐震補強工事
- ・鉄骨ブレース、PCアウトフレームの設置、耐震壁の増設
- ▽大規模改修工事
- ・1階フロアー、各階トイレ、庁舎出入り口のスロープ
- ・1階に多目的トイレを設置
- ・外壁・屋上の防水、受変電設備、受水槽設備、空調設備の更新 など
- ▽防災拠点の機能強化
- ・津波対策として附属棟を建築
- ・受変電設備と非常用発電設備を附属棟2階へ移転

地方創生のアイデアを募集しています！

現在、人口減少問題を克服し、地域を活性化させる「地方創生」が、国・地方を問わず最重要課題となっています。

鴨川市でも、「地方創生」を市全体の最重要課題として捉え、人口の現状と将来の見通しを示し、目指すべき将来の方向性を提示する「鴨川市人口ビジョン」と「地方創生」に関する今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめる「鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業を進めています。

この総合戦略の策定にあたっては、オール鴨川で対応するため、「地方創生」のアイデアを広く市民の皆様方、さらに、当会会員の皆様方からも募集いたします。

※詳細については、同封の募集要領及び提案書を参照ください。



無料アプリ「広報誌」により、スマホやタブレットで広報誌が平成27年4月1日号から読めるようになりました。

市外在住の方でも、これまで以上に手軽に広報かもがわをご購読いただくことが可能です。端末へのアプリのダウンロードは、App StoreかGoogle playへ直接アクセスいただくか、QRコードの読み取りにより可能となります。

■ QR コード

広報紙

こちらを読み取り、アプリをダウンロードしてください

スマホで読める「広報かもがわ」

事務局のメンバーが新しくなりました。

平成27年4月1日付けの人事異動により、事務局（企画政策課）の人員が一新されました。事務局員一同、これまで以上に皆さまのお役に立てるよう邁進してまいります。よろしくお願いたします。

新規会員を募集しています！

本会では、年間を通して新規会員を募集しています。今回、会報発送に併せて、会員募集チラシを同封させていただきました。会員の皆様のお知り合いの方で、鴨川出身の方や鴨川にゆかりがあり応援したいという方へお配りいただくなど、会員の募集にぜひご協力ください。